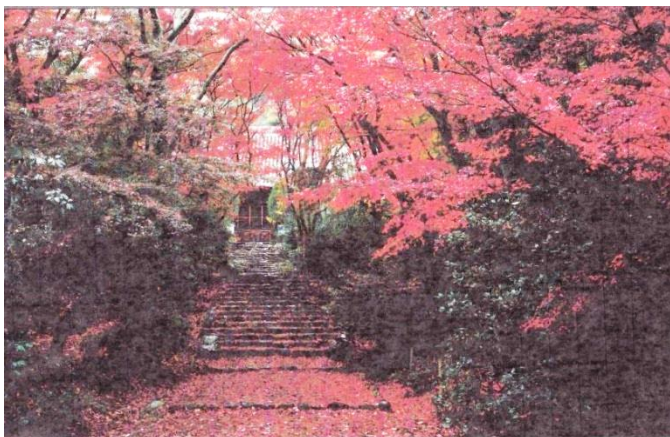


# ＜錦秋の洛西(浄住寺から松尾大社まで)＞探索！ 2021年11月26日(金)

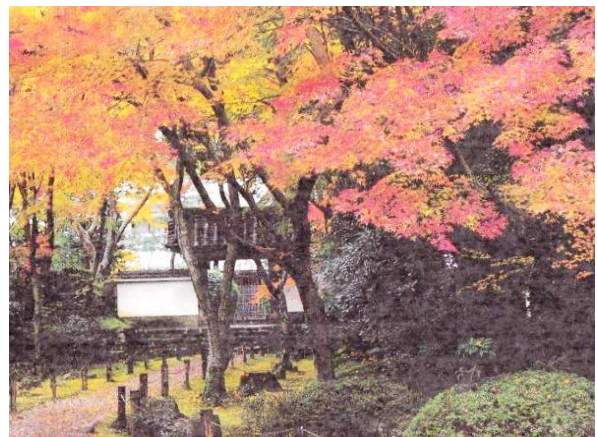
落葉樹の葉が紅(黄)葉して散る現象には、翌春の発芽力を蓄えるために自ら自壊して落葉するという深遠な意味が籠められている。植物を含む全ての生物の生きる名分は、偏に“種の保存”にある。

紅(黄)葉が古より詩歌にも謳われ先人たちに愛でられてきたのは、種を次世代へ継承するために紅(黄)葉し、やがて落葉するという大なる“自然の摂理(自己犠牲)”に、人は自ずと感動させられるからなのでしょう。

思えば、私たちが“人生の紅(黄)葉期”真只中にいます。敢えて“狂い咲き”は望みませんが、せめて美しく紅(黄)葉し、少しでも遅い落葉を期待したいものです。人は「死ぬために生きている」ではなく、「生きているから死ぬ」のです。より豊かな“意義ある人生”のためには、“自然の摂理”に叶い心置きなく“尊厳ある人生の終焉”を受容してこそ、真に「生を享受できる」のではないのでしょうか！



長い石段の参道奥に唐風の浄住寺



竹林の中に一際紅葉が映える地藏院

丹波地方を水源とする保津川は、嵐山辺りで京都盆地に入って桂川と名を変える。桂は月の名所でもあり、此処には多くの平安貴族が別荘を営んだ風光明媚な地。

また、この地域には京洛有数の古社寺や日本の建築美を世界に知らしめた桂離宮が、美しい自然に溶け込むように行んでいる。古の大宮人にとって桂川以西は、都の喧騒を離れて俗塵を落とす格好の場所でした。

それでは、洛西秘蔵の＜紅葉の穴場＞へ、皆さんをご案内するとしましょうか！

水先案内人：牧 彰(会員)

- 参集地：阪急京都「茨木市」駅8時15分 または、阪急嵐山線「上桂」駅9時
- 順○路：「茨木市」8:31発⇒9:05着「上桂」～葉室御霊神社～山口家長屋門～浄住寺～葉室家墓地～地藏院～10:45着華嚴寺～月読神社～松尾大社～13:30着「とりよね(昼の宴)」15:00発～「松尾」⇒「茨木市」
- 交通費：「茨木市」⇒「上桂」 280円+「松尾」⇒「茨木市」 280円=560円
- 拝観料：地藏院(竹の寺)500円 華嚴寺(鈴虫寺)500円
- 昼の宴：松尾「とりよね」京都市西京区嵐山朝日町66 13:30～15:00 TEL075-872-7711  
ランチ松 3,000円
- 参加費：無料(会員外は資料代100円) ※会員には、会より1,000円の補助あり。
- 定○員：25名
- 申込先：「街ing いばらき」代表・阪田浩(080-1436-9881) 会員外の参加大歓迎！

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。